

工場施設スマート管理システム

工場施設スマート管理システムの開発経緯

●施設環境マネジメント事業部（以下SKM）は、2015年から工場施設スマート管理システムの開発を始め、電力デマンド管理からエネルギー管理に発展し、現在は工場全般のスマート管理システムまで拡大、40社以上の企業様と業務契約を行っています。（下記の画面はモデル工場画面）

スマート化への加速要素と動向

●社会の要求と5G世代の幕開けにより工場運営管理は大きく変革を迫られています。



2014年～2019年 中国スマート工場化への投資

工場施設スマート管理システムの特長と構成

●SKMが構築する工場スマート管理システムは、IOT技術と遠隔監視技術を利用して、情報管理サービスを強化し生産過程を制御すると共に合理的な計画と実行を可能にします。



工場施設スマート管理システムのメリット

- デジタル化により情報管理とサービスを強化する。
- 生産過程の制御性を高め、人間の介入を減少できる。
- 効率的な省エネ、環境に優しいスマート工場を構築する。
- 全ての情報は施設管理だけでなく、生産管理運営データと工場経営のシステムに活用される。